

表4-4 定期モニタリング調査結果

(平成 17 年 3 月 31 日現在)

地 区 名	汚染物質 (環境基準)	汚染発見 年 月	モニタ リング 井戸数	定期モニタリングによる濃度変化		
				最高検出 濃 度 A(mg/ℓ)	最高濃度検出井 での最近2年間 平均濃度 B(mg/ℓ)	B/A ×100 (%)
1 武生市塚町・三ツ屋町	砒 素(注2) (0.01mg/ℓ)	12年 6月	2	0.031	0.024	—
2 坂井町上兵庫		10年 5月	1	0.035	0.005	—
3 若狭町東部		9年12月	3	0.15	0.076	—
4 高浜町菌部		2年11月	1	0.039	0.031	—
5 永平寺町光明寺	1,2-ジクロロエタン (0.004mg/ℓ)	12年 5月	3	0.015	0.0008*	5
6 福井市江守中(注1)	トリクロロエチレン (0.03mg/ℓ)	10年 9月	1	<0.002	<0.002*	—
7 福井市石橋町(注1)		10年 9月	2	0.017	0.004*	24
8 武生市吉野		1年11月	5	0.11	0.063	57
9 武生市大虫		2年 2月	4	0.12	0.037	31
10 武生市米口町		10年 9月	2	0.17	0.030*	18
11 鯖江市豊		2年 6月	4	0.064	0.038	59
12 鯖江市神明南部		4年 5月	5	0.37	0.074	20
13 鯖江市立待南部		7年10月	5	0.054	0.021*	39
14 鯖江市立待北部		8年 5月	5	0.12	0.031	25
15 鯖江市上河内町		8年 6月	3	0.31	0.016*	5
16 鯖江市立待西部		8年10月	5	0.16	0.027*	17
17 越前町小曽原1区(注1)		10年 9月	2	<0.002	<0.002*	—
18 越前町小曽原3区(注1)		10年 9月	2	<0.002	<0.002*	—
19 敦賀市布田町	テトラクロロエチレン (0.01mg/ℓ)	11年 5月	4	0.021	0.011	52
20 武生市北府		1年11月	4	0.027	0.019	70
21 大野市新町		1年12月	5	0.065	0.011	17
22 勝山市滝波町		8年 5月	5	0.024	0.0061*	25
23 鯖江市本町		5年 4月	5	0.38	0.130	34
24 鯖江市横越町		7年 5月	2	0.017	0.0034*	20
25 上志比村牧福島		4年 5月	5	0.087	0.0015*	2
26 高浜町立石	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/ℓ)	15年 5月	2	45	32	71
27 鯖江市水落	六価クロム(0.05mg/ℓ)	12年 8月	1	0.54	0.24	44
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/ℓ)	15年 5月	2	28	14	50
28 高浜町東三松	砒 素(注2) (0.01mg/ℓ)	12年 6月	1	0.032	0.028	—
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/ℓ)	12年 8月	1	51	28	55
29 鯖江市立待東部	1,1-ジクロロエチレン (0.02mg/ℓ)	7年12月	1	0.13	0.067	52
	トリクロロエチレン (0.03mg/ℓ)			0.099	0.015	15
30 武生市王子保	シス-1,2-ジクロロ エチレン(0.04mg/ℓ)	6年11月	7	0.097	0.061	63
	トリクロロエチレン (0.03mg/ℓ)	2年 7月		0.11	0.013	12
31 鯖江市蒔生田町	シス-1,2-ジクロ エチレン(0.04mg/ℓ)	11年10月	2	0.073	0.038*	52
	トリクロロエチレン (0.03mg/ℓ)			0.11	0.050	45

(注1) 環境基準の超過が工場敷地内の地下水に限定された地区。

(注2) 砒素による地下水汚染の原因は、いずれも自然由来と考えられます。

*は、最近2年間の地下水汚染物質の平均濃度が環境基準以下になったことを示します。